

住棟毎に作成してください

(様式1)

平成 年 月 日

既存住宅流通・リフォーム推進事業（大規模修繕タイプ）
提案応募申請書

以下の内容の通り、既存住宅流通・リフォーム推進事業（大規模修繕タイプ）の提案を申請します。

1. 住棟の名称、担当者の連絡先等

住棟の所在地	〒 — 都道府県 市区町村
住棟の名称	
管理組合の代表者名	印
担当者の氏名	
担当者の電話番号	— —
担当者の住所	〒 — 都道府県 市区町村
	(建物名・部屋番号等)
担当者のFAX番号	— —
担当者のメールアドレス	

※ 上記記載の担当者の情報が、今後の連絡先、通知書の送付先となります。

2. 共同住宅及び大規模修繕工事の概要

総戸数	戸	階数	階	延床面積	m ²
建築時期	年	月			

3. 大規模修繕工事の概要と補助金の交付申請予定額

大規模修繕 工事の工期	年 月 ~ 年 月	総工事費 (概算)	円
----------------	-----------	--------------	---

補助金の交付申請予定額	円
-------------	---

(実施する予定の長寿命化工事の内容)

【必須工事】

- a) 中性化・塩害対策工事
- b) 屋上防水工事（断熱工事を含む。）
- c) 外壁改修工事（剥落防止）

【選択工事】

- d) 水槽、給水管及び給水設備の耐震対策工事
- e) 手すり及び鉄骨階段の耐久化工事
- f) d)及びe)のほか、共同住宅の共用部分の劣化の防止、耐久性の向上及び維持管理の容易化に資すると認められる工事[※]
- g) バリアフリー対策工事
- h) 省エネルギー対策工事
- i) 電気自動車用充電施設工事
- j) g)～i)のほか、共同住宅の共用部分の性能・機能を向上させ、かつ、大規模修繕工事と併せて行うことが効率的であると認められる工事[※]

※ 選択工事として f)又は j)を選択する場合には、工事内容について個別に国土交通省の審査を行いますので、以下の事項についてわかる資料を提出してください。なお、採択までにはより多くの期間を要することをご承知おきください。

- ① 工事内容の概要
- ② 当該工事が f)又は j)に該当する理由及びデータ等
- ③ JIS 等、当該工事に関する公的基準
- ④ 当該工事が通常の大規模修繕工事では行われないことを示すデータ等
- ⑤ 工事に要する費用

住棟毎に作成してください

(様式2)

平成 年 月 日

既存住宅流通・リフォーム推進事業（大規模修繕タイプ）
補助金交付申請書

以下の内容の通り、既存住宅流通・リフォーム推進事業（大規模修繕タイプ）の補助金の交付を申請します。

1. 補助事業者の名称等

住棟の所在地	
住棟の名称	
補助事業者ID番号
管理組合の代表者名	印
担当者の氏名	
担当者の電話番号	— —
担当者の住所	〒 — — — — — — — — — — 都道府県 市区町村 (建物名・部屋番号等)
担当者のFAX番号	— —
担当者のメールアドレス	

2. 交付申請額等

総戸数	戸	階数	階
延床面積	m ²	建築時期	年 月
工事の工期	年 月 ~ 年 月		
総工費	円		
補助金の 交付申請額	円		

3. 実施工事及び添付書類

必須工事	添付書類の図面番号
a) 中性化及び塩害対策工事	
b) 屋上防水工事（断熱工事を含む。）	
c) 外壁改修工事（剥落防止）	
選択工事	添付書類の図面番号
<input type="checkbox"/> d) 水槽、給水管及び給水設備の耐震対策工事	
<input type="checkbox"/> e) 手すり及び鉄骨階段の耐久化工事	
<input type="checkbox"/> f) d)及びe)のほか、共同住宅の共用部分の劣化の防止、耐久性の向上及び維持管理の容易化に資すると認められる工事	
<input type="checkbox"/> g) バリアフリー対策工事	
<input type="checkbox"/> h) 省エネルギー対策工事	
<input type="checkbox"/> i) 電気自動車用充電設備設置工事	
<input type="checkbox"/> j) g)～i)のほか、共同住宅の共用部分の性能・機能を向上させ、かつ、大規模修繕工事と併せて行うことが効率的であると認められる工事	

注) ・「選択工事」の欄は、技術基準を満たす工事で、補助金を申請するものについてチェックを入れてください。（☑と記入してください。）

・平面図、立面図、断面図、仕様書等の設計図書には図面番号を記載するとともに、「添付書類の図面番号」の欄に、左記実施工事が技術基準を満たしていることを確認できる設計図書の図面番号をすべて記入してください。

その他の添付書類
<input type="checkbox"/> 補助金算定書（様式3）
<input type="checkbox"/> 保険契約申込みの受領を証する書類の写し
<input type="checkbox"/> 特定構造・防水検査申込みの受領を証する書類の写し
<input type="checkbox"/> 大規模修繕工事の請負契約書の写し
<input type="checkbox"/> 大規模修繕工事の見積書の写し（補助を受けようとする工事に関する費用がわかるものに限る。）
<input type="checkbox"/> 全住戸のうち少なくとも1戸について、その所有者が大規模修繕工事後に住宅を売却する意思を有していることを証する書類

補助金算定書（交付申請）

1. 工事種別毎の施工量及び費用

工事種別		施工量		かかり増し費 基準単価 (B)	上限金額 (A)×(B) =(C)	実際の かかり増し費	
		施工量の 計測方法	施工量 (A)				
必須 工事	中性化及び塩害対策工事		箇所 (施工箇所数)		¥500		
	屋上防水工事 (断熱工事を含む。)	「押さえ」から「押さえ」への改修	m ² (施工面積)		¥29,000		
		「押さえ」から「露出」への改修	m ² (施工面積)		¥12,000		
		「露出」から「露出」への改修	m ² (施工面積)		¥19,000		
	外壁改修工事 (剥落防止)	ピンネット工法		m ² (施工面積)		¥27,725	
		特殊繊維強化アクリル樹脂カバー工法		m ² (施工面積)		¥15,125	
		乾式タイルカバー工法		m ² (施工面積)		¥24,125	
		乾式サイディングカバー工法		m ² (施工面積)		¥24,125	
		石長シート張り工法		m ² (施工面積)		¥22,125	
		アスファルトシングル防水工事		m ² (施工面積)		¥22,000	
既存仕上げ材の撤去工事		m ² (施工面積)		¥7,000			
選択 工事	水槽、給水管 及び給水設備の 耐久化工事	水槽	基 (水槽数)		¥2,600,000		
		給水管	戸 (住宅戸数)		¥10,000		
	手すり及び 鉄骨階段の 耐久化工事	手すり	m (施工延長)		¥47,000		
		鉄骨階段	階 (施工階数)		¥1,500,000		
	電気自動車用 充電設備 設置工事	壁付けコンセント設置工事		セット (設置3台まで1セット)		¥300,000	
		スタンド設置工事(コンセント)		セット (設置3台まで1セット)		¥500,000	
		スタンド設置工事(ケーブル)		セット (設置3台まで1セット)		¥700,000	
		スタンド設置工事に伴う配線工事		m (配線延長)		¥40,000	
		共用部分電盤改修工事		箇所 (施工箇所数)		¥2,000,000	
		急速充電器		台 (設置台数)		¥4,500,000	
	バリアフリー 対策工事	手すり		m (施工延長)		¥30,000	
		スロープ		m (施工延長)		¥19,500	
		エレベーター		基 (エレベーター基数)		¥4,000,000	
	省エネルギー 対策工事	屋上断熱工事		m ² (施工面積)		¥1,500	
		玄関扉の断熱工事		戸 (住宅戸数)		¥250,000	
		窓の断熱工事		m ² (専有部分総面積)		¥11,500	
	合計						
					=(D)	=(E)	

【選択工事として f) 又は j) を実施する場合】

	算定方法	補助対象費用 =(F)
f)又はj)の工事費用	国土交通省が個別に審査して認める金額	

2. 補助対象費用

	算定方法	補助対象費用
工事費用	(D)、(E)のいずれか小さい方の金額の1/3	
	(F)の金額の1/3	
大規模修繕保険の事務手数料	保険料の30%	
大規模修繕保険の現場検査料	全額	
住宅履歴情報の登録・蓄積の費用	住宅履歴情報登録機関への登録費用については全額	
住宅履歴情報作成のための調査、図面作製等の費用	全額	
保険法人が行う特定構造・防水検査に要する費用	全額	
合 計 (G)		

3. 限度額

	算定方法	限度額	
戸当たり限度額	総住戸数×25万円		=(H)
管理組合当たり限度額	2000万円	2000万円	=(I)

4. 補助金の交付申請額

補助金の交付申請額	円
-----------	---

(G)、(H)、(I)のうち最も小さい金額が、補助金の交付申請をすることが可能な金額です。

住棟毎に作成してください

(様式4)

平成 年 月 日

既存住宅流通・リフォーム推進事業（大規模修繕タイプ）

実績報告書

一般社団法人住宅瑕疵担保責任保険協会 殿

以下の内容の通り、既存住宅流通・リフォーム推進事業（大規模修繕タイプ）の実績を報告します。

住棟の所在地	
住棟の名称	
補助事業者ID番号
管理組合の代表者名	印
担当者の氏名	
担当者の電話番号	— —
担当者の住所	〒 — 都道府県 市区町村
	(建物名・部屋番号等)
担当者のFAX番号	— —
担当者のメールアドレス	

住棟毎に作成してください

(様式5)

平成 年 月 日

振込口座登録申請書

※ 記入後の本申請書のコピーを取り、控えとしてお手元に大切に保管してください。

補助事業者名	(カナ)
補助事業者ID番号	

「口座名義人」を記入する際には、必ず通帳の表紙の裏に記載されているカタカナ表記部分の口座名義人をそのままご記入ください。



振込口座 ゆうちょ銀行	金融機関コード(数字4ケタ)	振込銀行名		
	支店コード(数字3ケタ)	支店名		
	預金種別(該当のものに○印をつけてください)	口座番号※右づめ		
	① 普通 ② 当座 ④ 貯蓄 ⑨ その他()			
	口座名義人(カナ表記)			
	記号(6桁目がある場合は※部分にご記入ください)	番号(右づめでご記入ください)		
1	0		1	
口座名義人(カナ表記)				

※口座名義人(カナ表記)の記入上の注意(通帳表紙の裏に記載されているカタカナを記載ください。) ㊦【株式会社住宅グループ建設】と記入する場合

- ①スペース(空白)・ハイフンを正しく記入してください。
カフ シキカ イシャ シ ユウタクク ルーフ ケンセツ
- ②濁音・半濁音は1文字として記入してください。
カフ シキガ イシャ シ ユウタクク ルーフ ケンセツ
- ③小文字は大文字を記入してください。
カフ シキカ イシャ シ ユウタクク ルーフ ケンセツ
- ④省略文字が使われている場合は、記載されている通りに記入してください。
カ シ ユウタクク ルーフ ケンセツ
良く使われる略語は右記 株式会社 → カ 有限会社 → ユ 合名会社 → メ 合資会社 → シ 財団法人 → ザイ 社団法人 → シヤ

⚠ 口座情報の記載を間違えると、入金できませんので注意してください。



口座振込申請書に該当する「通帳の表紙コピー」と「通帳表紙裏ページのコピー」の2点を別紙の「通帳コピー貼り付け用紙」に必ず貼り付けのうえ提出してください。

口座振込申請書に該当する「通帳の表紙コピー」と「通帳表紙裏ページのコピー」を下記、所定の位置に貼り付けてください。

通帳の表紙コピー貼り付け欄

通帳の表紙コピー 《貼り付け必須》

セロハンテープで貼り付けてください。



通帳表紙裏ページのコピー貼り付け欄

通帳表紙裏ページのコピー 《貼り付け必須》

セロハンテープで貼り付けてください。



補助金算定書（実績報告）

1. 工事種別毎の施工量及び費用

工事種別		施工量		かかり増し費 基準単価 (B)	上限金額 (A)×(B) =(C)	実際の かかり増し費	
		施工量の 計測方法	施工量 (A)				
必須 工事	中性化及び塩害対策工事		箇所 (施工箇所数)		¥500		
	屋上防水工事 (断熱工事を含む。)	「押さえ」から「押さえ」への改修	m ² (施工面積)		¥29,000		
		「押さえ」から「露出」への改修	m ² (施工面積)		¥12,000		
		「露出」から「露出」への改修	m ² (施工面積)		¥19,000		
	外壁改修工事 (剥落防止)	ピンネット工法		m ² (施工面積)		¥27,725	
		特殊繊維強化アクリル樹脂カバー工法		m ² (施工面積)		¥15,125	
		乾式タイルカバー工法		m ² (施工面積)		¥24,125	
		乾式サイディングカバー工法		m ² (施工面積)		¥24,125	
		石長シート張り工法		m ² (施工面積)		¥22,125	
		アスファルトシングル防水工事		m ² (施工面積)		¥22,000	
既存仕上げ材の撤去工事		m ² (施工面積)		¥7,000			
選択 工事	水槽、給水管 及び給水設備の 耐久化工事	水槽	基 (水槽数)		¥2,600,000		
		給水管	戸 (住宅戸数)		¥10,000		
	手すり及び 鉄骨階段の 耐久化工事	手すり	m (施工延長)		¥47,000		
		鉄骨階段	階 (施工階数)		¥1,500,000		
	電気自動車用 充電設備 設置工事	壁付けコンセント設置工事		セット (設置3台まで1セット)		¥300,000	
		スタンド設置工事(コンセント)		セット (設置3台まで1セット)		¥500,000	
		スタンド設置工事(ケーブル)		セット (設置3台まで1セット)		¥700,000	
		スタンド設置工事に伴う配線工事		m (配線延長)		¥40,000	
		共用部分電盤改修工事		箇所 (施工箇所数)		¥2,000,000	
		急速充電器		台 (設置台数)		¥4,500,000	
	バリアフリー 対策工事	手すり		m (施工延長)		¥30,000	
		スロープ		m (施工延長)		¥19,500	
		エレベーター		基 (エレベーター基数)		¥4,000,000	
	省エネルギー 対策工事	屋上断熱工事		m ² (施工面積)		¥1,500	
		玄関扉の断熱工事		戸 (住宅戸数)		¥250,000	
		窓の断熱工事		m ² (専有部分総面積)		¥11,500	
合計							
					= (D)	= (E)	

【選択工事として f) 又は j) を実施する場合】

	算定方法	補助対象費用 =(F)
f)又はj)の工事費用	国土交通省が個別に審査して認める金額	

2. 補助対象費用

	算定方法	補助対象費用
工事費用	(D)、(E)のいずれか小さい方の金額の1/3	
	(F)の金額の1/3	
大規模修繕保険の事務手数料	保険料の30%	
大規模修繕保険の現場検査料	全額	
住宅履歴情報の登録・蓄積の費用	住宅履歴情報登録機関への登録費用については全額	
住宅履歴情報作成のための調査、図面作製等の費用	全額	
保険法人が行う特定構造・防水検査に要する費用	全額	
合 計 (G)		

3. 限度額

	算定方法	限度額	
戸当たり限度額	総住戸数×25万円		=(H)
管理組合当たり限度額	2000万円	2000万円	=(I)

4. 補助金の交付申請額

補助金の交付申請額	円
-----------	---

(G)、(H)、(I)のうち最も小さい金額が、補助金の申請をすることが可能な金額です。なお、交付決定された金額を超えることはできません。

住棟毎に作成してください

(様式7)

大規模修繕工事の費用及び領収書

大規模修繕工事費用として管理組合が工事業者に支払った金額 (税抜)	円
-----------------------------------	---

↓大規模修繕工事の領収書の写しはこの下に貼付してください。(ただし、領収書がA4の大きさの場合は、下に貼付せずにそのまま提出してください。その場合は、「大規模修繕工事費用として管理組合が工事業者に支払った金額 (税抜)」のみを記載した様式7を提出してください。)

領収書の総枚数	枚	枚目	枚中
領収書は様式7につき1枚を貼付ください			

住宅毎に作成してください

(様式8)

平成 年 月 日

住宅履歴情報登録証明書

以下の内容の通り、住宅履歴情報を登録したことを証明します。

(住宅履歴情報を保管した者の名称)

印

1. 住宅に関すること

住宅の名称	
住宅の所在地	

2. 住宅履歴情報に関すること

住宅履歴情報		チェック欄
工事後の各階の平面図 (必須)		<input type="checkbox"/>
工事に関する図書等	仕様書	<input type="checkbox"/>
	見積書 (必須)	<input type="checkbox"/>
	平面詳細図	<input type="checkbox"/>
	立面図	<input type="checkbox"/>
	断面図	<input type="checkbox"/>
	矩計図	<input type="checkbox"/>
	基礎伏図等構造関連図	<input type="checkbox"/>
その他 ()	<input type="checkbox"/>	
現場検査に関する書類等	現場検査報告書 (必須)	<input type="checkbox"/>
	その他 ()	<input type="checkbox"/>

※ 住宅履歴情報登録機関に登録する場合、その機関が発行する住宅履歴情報登録証明書を提出してください。

住宅毎に作成してください

(様式9)

保険に係る現場検査の手数料の領収書

↓保険に係る現場検査の手数料の領収書の写しはこの下に貼付してください。(ただし、領収書がA4の大きさの場合は、様式9を使用せずにそのまま領収書を提出してください。)

領収書の総枚数	枚	枚目 枚中
領収書は様式9につき1枚を貼付ください		

住棟毎に作成してください

(様式10)

住宅履歴情報に関する領収書

↓住宅履歴情報作成のための調査、図面作製等の費用について補助を受けようとする場合に、領収書の写しをこの下に貼付してください。(ただし、領収書がA4の大きさの場合は、様式10を使用せずにそのまま領収書を提出してください。)

領収書の総枚数	枚	枚目	枚中
領収書は様式10につき1枚を貼付ください			

住棟毎に作成してください

(様式11)

施工中の写真

様式11の総枚数	枚	枚目	枚中
----------	---	----	----

【必須項目】

- a) 中性化・塩害対策工事 b) 屋上防水工事（断熱工事を含む。）
 c) 外壁改修工事（剥落防止）

【選択項目】

- d) 水槽、給水管及び給水設備の耐久化工事
 e) 手すり及び鉄骨階段の耐久化工事
 f) d)及びe)のほか、共同住宅の共用部分の劣化の防止、耐久性の向上及び維持管理の容易化に資すると認められる工事
 g) バリアフリー対策工事 h) 省エネルギー対策工事
 i) 電気自動車用充電施設工事
 j) g)～i)のほか、共同住宅の共用部分の性能・機能を向上させ、かつ、大規模修繕工事と併せて行うことが効率的であると認められる工事

※ 実施した工事毎に、少なくとも3枚の写真が必要です。

(別紙1)

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇マンション管理組合 殿

今回の大規模修繕工事の完了後、売却価格等の諸条件が私の希望に沿うものであれば、私の所有する住戸を売却しても良いと考えています。

〇〇マンション 〇〇〇号室

〇〇〇〇